

4 県民が文化に親しむ機会の充実

(1) 県立図書館

① 運営方針

宮崎県立図書館は、社会教育を担う中核施設としての使命を踏まえ、人づくりと地域づくりに役に立つ図書館をめざして、6つの目標を掲げる。そして、目標の具現化に向けて、市町村立図書館（室）や関係機関・団体等と連携を図り、県内図書館のフロントランナーとして、図書館の機能と資源を活用しながら積極的に事業を展開する。

【目標】	・ 県の情報拠点としての図書館	・ 県民や地域の課題解決を支援する図書館
	・ 図書館のための図書館	・ 地域の文化を大切にする図書館
	・ 豊かな暮らしに役立つ図書館	・ 進化する図書館

○ 多様な学習機会の提供と課題解決支援の強化

県民の自主的な学習を支援するため、県民のニーズに添った各種講座や相談会等を実施し、多様な学習機会を積極的に提供するとともに、図書館の持つ機能と資源を有効に活用し、宮崎の発展を支える情報拠点として、レファレンスサービスや情報発信事業等により県民や地域の課題解決を積極的に支援する。

○ 市町村立図書館（室）及び学校等との連携・支援の強化

市町村立図書館（室）や学校図書館、大学図書館との館種を超えたネットワークの充実を図り、互いに連携し、資料や情報の円滑な流通等に努め、その連絡調整役としての県立図書館の機能を強化する。また、県立図書館が健康情報サービス等の先進的サービスモデルを実践し、市町村立図書館（室）職員等との研修や運営助言等により、それらの県全域への波及を図る。

○ 郷土に関する情報収集・提供の強化

『宮崎の“昔と今”を学ぶ』をテーマとして、市町村立図書館等と役割分担をしながら、地域資料の計画的な収集・整理・保存に努める。また、関係機関と連携した地域情報の発信事業やリンク集作成、レファレンス回答データベース化、貴重書等のデジタル化を行うなど、地域の情報拠点としての役割を強化する。

○ 情報化の推進と広報の強化

時代や社会のニーズにあった図書館サービスを的確に展開していくために、新図書館情報システムを円滑に運用するなど、さらなる情報化の推進に努める。また、図書館の役割や業務等を県民や行政機関、学校、各種団体等に広く理解してもらうために、利用講座やホームページの充実を図るとともに、新聞、ラジオ、テレビ等のあらゆるメディア媒体を駆使した積極的な広報を展開する。

(2) 県立美術館

① 運営方針

優れた美術品を鑑賞する機会と創作・発表及び学習の場の提供など美術の振興を図り、心豊かな県民生活の創造に寄与するため、各種事業を積極的に推進し、県民に親しまれる開かれた美術館を目指す。

○ 展示事業

国内外の高水準の芸術作品を鑑賞する機会としての特別展の開催や調査・研究成果を基本に優れた収蔵作品を年間を通じて紹介するコレクション展、そして県美術展の開催等により県民に優れた作品の鑑賞機会や発表の場を計画的に提供し、本県美術の中核施設としての役割を果たしていく。

○ 教育普及事業

県民一般や子ども達の美術に対する興味・関心を高め、技術の向上や創作意欲を喚起するために講座やワークショップを実施したり、地理的条件等により美術館を訪れる機会の少ない人達のために移動ハイビジョン等を実施したりすることにより、本県美術水準の向上に努め、教育機関としての役割を果たしていく。

○ 資料整備事業

体系的、計画的な資料の収集を図る。

○ 管理・運営事業

財政が厳しい中、経費削減に努めるとともに、各事業の効率的な運営管理を進めながら、実行委員会方式による特別展の無休化、サポーターとの協働及びコレクション展の無料化等により、一層の県民サービスの向上を図る。